



西野まさひと

活動報告 No.37

ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】<http://www.nishino1.com/>



■ 西野まさひと友の会では、議長となってつとめた日野市議会第1回定例会(3月議会)の内容を取材しご報告します。

第29代 日野市議会議長に就任いたしました

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。皆様に於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成28年第1回定例会(3月議会)は、1日より29日まで開会されました。市議会議員選挙から早いもので2年となり慣例により今議会において、議会初日に議長・副議長・各常任委員会等の役職改選が行われました。その結果、第29代日野市議会議長に選出され議長職を担う事となりました。議長就任の挨拶において、日野市議会は「18万2千人の市民の為の市議会である事を認識し、更正・公平をモットーに中立な立場で議会運営を進めたい」と申し上げさせて頂きました。

議長に就任して初めての議会ということで緊張しながらも、議員各位のご協力はもとより理事者のご協力も賜り、無事に3月議会を閉会することが出来、感謝申し上げます。



日野市議会議員 西野正人

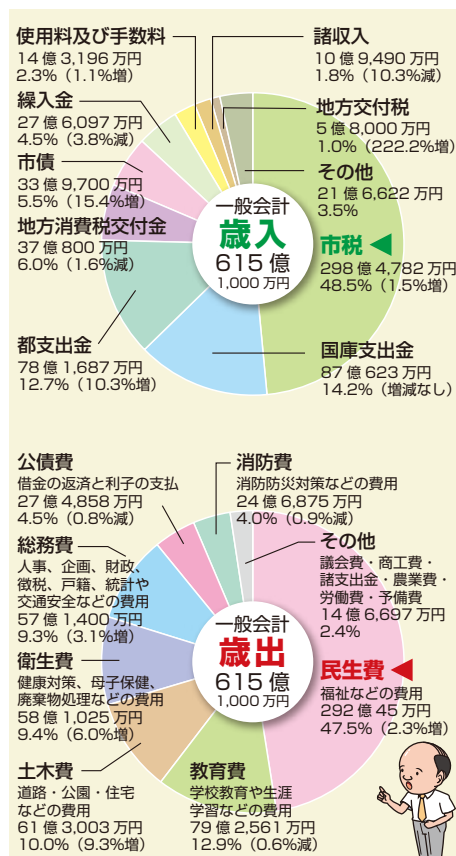
一般会計 予算過去最大615.1億円

一般会計予算は、歳入歳出ともに615億1千万円で、昨年度比18億5千万円の増で過去最大の予算となりました。歳入における税収において市税は昨年度比1.5パーセント増の約298億4700万円と景気の動向を反映していくぶん状況は改善するものと見込まれますが、大幅な増収は見込めません。

歳出においては、少子高齢化が進むなか社会保障関連経費の増大、生活保護費の増加等により民生費は2.3パーセント増の約292億となりました。また、老朽化した公共施設の更新など財政負担は増大傾向にあり全体として大変厳しい財政運営が強いられます。

今年度の重点施策をピックアップ

そのような状況下において重点施策として、保育所待機児解消へ向けての取り組み、夏休み期間の放課後こども教室「スーパーひのつつ」の拡充、こどもの貧困対策、(仮称)旭ヶ丘公共施設建設への取り組み、(仮称)東豊田複合施設建設、「桑ハウス」の保存、都市計画道路3・4・24号線詳細設計、都市計画道路3・4・17号線道路拡幅、空き家条例の制定、障害者差別解消に係る条例制定を視野に入れた障害者差別解消検討委員会の立ち上げ、地域医療政策に係る職員の配置、南平体育館の整備などが行われます。



予算化



これまで提言・質問してきた事案ので今年度予算化されたものを紹介！

● 奨学金支給事業—適格申請者全員に支給を実現 1,083万円

これまでの日野市内高校生奨学金の申請件数は、平成24年が82名、平成25年が88名、平成26年が91名でしたが支給は、所得の低い方から50名までで、奨学金を受けられない子供達が多かったです。向学心のある子供達にはチャンスを与えるべきと考え、この支給審査のあり方を、一定の基準が満たされていれば全員に支給すべきと平成27年度一般会計予算委員会にて提言してきましたが、今年度から予算化され奨学金全員支給が実現しました。

● LED街路灯導入促進事業—平成29年度からの導入に向けて

日野市内の市道街路灯10,950基の電気代は現在9,701万円が計上されていますが、この全てをLED化するとその電気代は約3,000万円ほどに節約することができます。民間との協働で街路灯導入をリース・補助金活用によって一気に進める事業を積極的に進めるべきと提言してまいりましたが、平成29年度からの導入実現に向けて今年度から予算化されました。



● 街頭防犯カメラ設置事業—主要駅5カ所・通学路25カ所に増設！ 1,220万円

増加する犯罪から市民を守るため、街頭防犯カメラの設置は一定の効果が認められています。これまで平成24年第2回定例会での一般質問から、様々な機会を通して実現に向け働きかけてまいりました。平成26年度には「防犯カメラの設置及び運用に関する条例」を制定し、防犯カメラを設置しました。昨年度に引き続き今年度も主要駅周辺や通学路周辺に増設します。

駅周辺計5カ所を予定 日野駅東口・南平駅北口と南口 百草園駅北口と南口
小学校通学路各5カ所計25カ所を予定 豊田小・五小・六小・滝合小・旭が丘小

● 新人事評価制の運用開始—市民から信頼され職員も評価される制度へ 747万円

不況のなか民間企業では企業努力を積重ね、社員にも評価制度を導入し改革に取り組んでこられたことは周知の事実です。地方公務員の職場でも同様に職員の努力と成果を正しく評価する制度が必要であると、平成25年2月定例会の一般質問等でうたえてきましたが、今年度からその一部がスタートします。

● 「桑ハウス」を国の登録文化財に申請 709万円

仲田の森蚕糸公園内にある「桑ハウス」を国の登録文化財に申請し、保存・活用に取り組むことになりました。この公園とふれあいホールは、ともに東町地区区画整理地内にあり、本来なら区画整理事業の進行に合わせて行うべき整備でありましたが、多摩国体の開催等に配慮して先行して行われました。西野議員も地元住民の一人でもありこれまで以上に早期事業完了に向け全力で取り組む決意です。



この国の暮らしと安全を守るために確かな選択を！

中川まさはる 略歴

昭和22年2月22日 東京都に生まれる
昭和44年 東京大学法学部卒業
同 年 大蔵省(現財務省)入省
平成2年 大蔵省主計局主計官
平成7年 国税庁調査査察部長
平成10年 大蔵省理財局長
平成14年 環境省事務次官
平成16年 参院選東京選挙区で当選
平成19年 自民党環境部会長
平成20年 参議院文教科学委員長
平成22年 参議院東京選挙区で再選
平成22年 参議院沖縄・北方問題特別委員長
平成23年 自民党政務調査会副会長
平成25年 参議院国家安全保障特別委員長
平成26年 参議院議員運営委員長



政治の役割で第一に重要なことは国民の暮らし安全とを守ることにほかなりません。事務次官の経験もあり、財政通でしかも環境通でもあるバランス感覚豊かな中川さんは、波乱の世界経済の荒波を乗り切るためには、日本になくてはならない政治家の一人です。中川さんの政策の詳細はリーフレットもしくは下記のアドレスからご覧下さい。私も応援しています。 西野 正人

参議院議員 自民党総務会長代理 元環境省事務次官

中川まさはるさん

現在の役職 自民党総務会長代理 自民党国際協力調査会長 自民党税制調査会幹事
自民党憲法改正推進本部福本部長 自民党住宅土地・都市政策調査会副会長
自民党環境・温暖化対策調査会副会長 茶道裏千家淡交会関東第一地区常任顧問など

